

▼東北

旅・グルメ同好会

「魚料理を楽しむ会」

庄司 精一(〇X)

442年ぶりに月食と天王星の惑星食が重なった11月8日の夜、仙台市の繁華街国分町にある四季食彩「安田」に「旅・グルメ同好会」のメンバー15人が集いました。



魚料理のフルコースを楽しむ皆さん

食事は「イタリアンナイト」以来でほぼ1年ぶりです。特別参加の水上会長の乾杯で会はスタート。まずサザエのつぼ焼き、卵焼きの湯葉乗せ、そしてツブ

貝の三品が一皿に盛られた突き出しがテーブルに運ばれました。親方が選んだ10種類の日本酒を含め、ビール、ワイン、ソフトドリンクが飲み放題の7千円コース。

生ガキと穴子、ホタテ、サーモンのお造り、銀ダラの煮付けと美味しい料理が続きます。「魚料理には日本酒」ということで各テーブルから銘酒をお代わりする声が続き、可憐な学生アルバイトのお嬢さんも大忙しです。お酒と美味しい料理は、舌を滑らかにし笑顔も運ぶよう、各テーブルは現役時代の自慢話や仕事仲間の情報などで大盛り上がりです。時も過ぎ「お魚料理を楽しむ会」もラストディッシュ。締めは、宮城県ではこの時期が旬の定番料理の「はらこ飯」です。

最後のあいさつに立った渡辺副理事長がユーモアを交えて東北民放クラブの現況を報告して会はお開きとなりました。地下のお店を出ると、通りでは夜空を見上げる人。お月様がほぼ欠けていました。次に月食と惑星食が同時に見られるのは322年後。その時はみんな揃って空の

上からお月様を見下ろしていることでしょう。



食をそそる生ガキと穴子・ホタテ

釣友会「フク釣り」だより

野口 秋男(〇X)

昨12月10日、釣友会のメンバー6名は正月用の「ナメタガレイ」を狙って関上港永勝丸で出港。天気晴朗、波も穏やかで沖合を目指しました。

ところが掛かってくる魚はフグばかり！ベテランの安部先輩もナメタガレイはボウズ。6名で真ガレイを釣った人は2名だけ。場所を変えても上がる魚は15cmくらいのフグのオンパレードです。こんな釣果は初めてだと皆嘆い

ていました。



関上の出港を前に集合

フグの種類は「トラフグの子供」か「クサフグ」、「シマフグ」など。良く解かりませんが日本近海には約50種類のフグが生息しているそうです。食用の「トラフグ」は有名ですが、釣れたフグはエサ取りやハリス食いばかりで釣り人には嫌われていますし、毒性があり食用には全く向きません。でも今年は「フグ釣り」ではなく「フグ来る」を信じて次回も頑張らしましょう!!
今年5月中旬にカレイ釣りを予定しております。
乞う！ご参加。